



平成 21 年 1 月 13 日

各 位

会社名 東洋炭素株式会社
代表者名 代表取締役社長 近藤 純子
(コード番号：5310 東証第一部)
問合せ先 執行役員経理部長 坊木 斗志己
(TEL. 06-6451-2114)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 7 月 15 日付当社「平成 20 年 5 月期 決算短信」にて公表いたしました平成 21 年 5 月期（平成 20 年 6 月 1 日～平成 21 年 5 月 31 日）の業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当期の業績予想数値の修正（平成 20 年 6 月 1 日～平成 21 年 5 月 31 日）

（1）連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	37,400	7,800	7,900	4,900	235.59
今回修正予想（B）	33,000	6,400	6,000	3,700	178.44
増減額（B－A）	△4,400	△1,400	△1,900	△1,200	－
増減率（％）	△11.8	△17.9	△24.1	△24.5	－
（ご参考）前期実績 （平成 20 年 5 月期）	34,531	8,031	7,795	5,143	247.33

（2）個別業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	27,700	3,900	4,100	2,500	120.57
今回修正予想（B）	25,000	2,400	2,900	2,000	96.46
増減額（B－A）	△2,700	△1,500	△1,200	△500	－
増減率（％）	△9.7	△38.5	△29.3	△20.0	－
（ご参考）前期実績 （平成 20 年 5 月期）	26,222	4,448	4,306	2,902	139.96

2. 修正の理由

今後の経済環境につきましては、金融危機のさらなる深刻化と実体経済への波及拡大を背景として、世界経済の下振れリスクが一段と高まっております。日本経済も、原燃料価格は沈静化に向かうと見られる反面、急激な円高の進行懸念も含めて、今後さらに厳しさを増していくと予想されます。

当企業グループを取り巻く状況も、円高の進行や世界同時不況にともなう需要低迷懸念等、先行き不透明感が強まっており、一部用途での調整は避けられない状況であります。一方で中長期的には、世界的に成長が見込まれる太陽電池製造用途をはじめ、原子力分野の拡大期待も含めて、特に環境・エネルギー関連分野における高機能カーボンの需要は拡大すると予想しております。当企業グループといたしましては、このような市場環境変化を踏まえて、先を見据えた高成長分野・地域へのシフトならびに高付加価値化を着実に進めるとともに、業績の確保に最善を尽くしてまいり所存であります。

以上のような状況を考慮し、想定為替レートの見直しも含めて、平成20年7月15日発表の当連結会計年度通期の業績予想を修正いたします。

(第3四半期以降の想定為替レート 100円/US\$→90円/US\$、150円/EUR→120円/EUR)

(注) 業績予想につきましては、本資料発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以 上